

南あわじ市 平成 21 年度 事務事業評価シート 新規 継続
(事業 委託 補助用)

I 基本事項

		整理番号	510
事業名	環境保全活動推進パトロール委託		予算科目
担当部課名	市民生活部	生活環境課	会計
電話	0799 - 43 - 5024		款
事業分類	<input type="checkbox"/> 義務的(法定)事務	法的根拠 (法令、条例、要綱等)	一般会計・1
	<input type="checkbox"/> 任意的(自治)事務		衛生費・4款
南あわじ市総合計画 施策体系	まちづくりの柱	安らぎづくり__元気あふれ__住んで快適なまちづくり__	項
	まちづくりの目標	子どもを産みたい__育てたいまち(子育て)	保健衛生費・1項
	施策目標	ゴミのない清潔感あふれる安らぎの住環境をつくる	目
該当する事業について「 」を選択		施策的事業	業務委託
			負担金補助

II Plan (計画、事業内容、事業背景)

事業概要	目的	対象(誰を・どのような状況の人に)	
		市内全域	対象人数(人)
			52,410
		意図(どのような状態になってもらいたいのか、事業を実施する「本来の目的」を記入)	
		ポイ捨てされたゴミ及び不法投棄された家庭ゴミの回収撤去並びに不法投棄の監視及び防止啓発を行うことにより環境の保全と景観の形成を行う。	
実施内容	(何をどのような手段・内容・手順により目的を達成させるのか)		
	市内を巡回してポイ捨てされたゴミ及び不法投棄された家庭ゴミの回収撤去並びに不法投棄の監視及び防止啓発をシルバー人材センターに委託して実施する。		
背景、委託根拠	(どのような現状・課題・要望があったか、また委託に至った根拠、他の自治体の動向)		
	南淡路地域の観光道路及び主要道路には、毎日多量のゴミが投棄されており苦情が寄せられるほどゴミが散乱する状況であった。そこで、多量のゴミが散乱する前に、効率的にゴミを回収し、また不法投棄の監視を図るため定期的な清掃を実施することになった。		
事業実施主体	<input type="checkbox"/> 市直営	<input checked="" type="checkbox"/> 民間・その他	(社団法人シルバー人材センター)
事業期間	<input type="checkbox"/> 平成	年度	~ 平成
			年度 <input checked="" type="checkbox"/> 設定なし
合併協議事務調整内容	(合併前における事業実施団体と合併時における事務調整経緯)		
	<input type="checkbox"/> 旧緑町 <input type="checkbox"/> 旧西淡町 <input checked="" type="checkbox"/> 旧三原町 <input checked="" type="checkbox"/> 旧南淡町 <input type="checkbox"/> 旧広域事務組合 <input type="checkbox"/> 新市から		
	旧三原町及び旧南淡町でそれぞれ実施していたとおり新市に引き継ぐ。		

Ⅲ Do (事業活動・成果、投入資源・コスト)

事業に対する 目標の設定	指標名	委託料				指標単位
						千円
	指標説明 (指標算出 方法等)	委託料 = 1班2人(10,700円/日)で週1日の実施				
		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
	目標値	2,486	1,291	792	792	792
	実績値	2,199	1,267	1,730		
	達成度 (%)	88.5	98.1	218.4	-	-
目標値設定 の考え方	当初予算見積額を目標値とし、実際に実施した述べ日数で委託料が支払われることから業務量が分かる。					
資源配分 (インプット)		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
	直接事業費 (千円)	2,199	1,267	1,730	792	792
	環境美化対策委託料	2,199	1,267	1,730	792	792
	財源 (千円)					
	国					
	県					
	起債					
	その他					
	一般財源[A]	2,199	1,267	1,730	792	792
	人件費(正規職員)[B] (千円)	0	0	0	0	0
	平均人件費(1日当り)	29.9	30.1	27.9	28.2	28.2
	事業量1(事業に要した日数)					
事業量2(事業に要した人数)						
年間経費([A]+[B])	2,199	1,267	1,730	792	792	
「目的」対象人数1人当り経費 (円)	42.0	24.2	33.0	15.1	15.1	
経費に関する 補足説明	環境美化対策委託料のうち市内主要道路清掃パトロール業務が本事業に該当する。					

IV Check (事業の自己評価・一次評価)

		単位	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
達成度	目標達成度	%	88.5	98.1	218.4	-	-
	(事業目標の達成度分析、問題点・課題などを記入。) 平成20年度は、環境美化対策委託料の内容を一部変更して、犬猫死体回収処理と合わせて環境パトロールを実施したため委託日数が大幅に増加した。						(自己評価) (5点評価)
							3
有効性	(住民満足度の分析、問題点・課題などを記入。) ポイ捨てされたゴミ及び不法投棄された家庭ゴミの回収撤去並びに不法投棄の監視といった業務は実施できており、不法投棄に対する意識も住民に浸透してきた。						(自己評価) (5点評価)
		単位	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
効率性	事業単価	円	42.0	24.2	33.0	15.1	15.1
	(効率性・コストの分析、問題点・課題などを記入。) 主要幹線道路では、毎日多量のゴミが投棄されており苦情が寄せられるほどゴミが散乱する状況であったが、ゴミが多量に散乱する前に定期的な清掃を実施することで、作業効率が大幅に上がっている。						(自己評価) (5点評価)
							4
必要性	公共性の高低	<input type="checkbox"/> 高	<input checked="" type="checkbox"/> 中	<input type="checkbox"/> 低			
	(公共性、市民ニーズ、緊急性などを分析、問題点・課題などを記入。) 不法投棄ゴミが散乱したり大量に遺棄された場合、簡単な作業では処理できず、重機等の大規模な作業が必要になることもあるため、定期的な清掃、監視は必要である。						(自己評価) (5点評価)
							3
総合評価	自己評価をふまえた現状分析						
	ポイ捨てされたゴミ及び不法投棄された家庭ゴミの回収撤去並びに不法投棄の監視といった業務には一定の効果が認められる。ただし、『犬猫処理委託(小動物処理業務)』や『環境美化補助員委託』『不法投棄廃棄物処理委託』などの環境美化を目的とした同種の業務委託について整理統合を図る必要がある。		<div data-bbox="821 1541 1388 2121" data-label="Figure"> <p>評価グラフ</p> </div>				

V Action&Plan (改善の内容及び次年度以降の計画)

	平成22年度にできる改善・改革	平成23年度以降にできる中期的な改善・改革
今後の方向性とその理由	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 予算充実 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 手法見直し	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 予算充実 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input checked="" type="checkbox"/> 手法見直し
	住民への不法投棄防止に対する意識高揚、啓発等を図りつつ、環境パトロール業務委託については、現状維持で実施する。	同左。
(現状維持以外の改善方法)		
改善によって期待される効果	効果(アウトカム)面	効果(アウトカム)面
	コスト面	コスト面
(現状維持の場合も記入)	仮に 事業を中止、統廃合した場合に予測される影響(プラス面、マイナス面) 不法投棄ゴミが散乱したり大量に遺棄された場合、簡単な作業では処理できず、重機等の大規模な作業が必要になり、経費が増大すると同時に良好な景観が維持できなくなる。	